

基本施策 3-2 つながりを活かした交通安全と防犯

1. 現状と課題

本町における交通事故発生件数は、半田警察署管内※で最も少なくなっています。しかし、公共交通が充実しておらず、主な移動手段が自動車であるため、高齢者による交通事故の割合が高くなっています。

防犯については、犯罪者が一番嫌がるのは地域の連帯と信頼感であり、近所づきあいが活発で地域コミュニティがしっかりしているまちは、犯罪に強いとされています。本町では半田警察署管内で最も犯罪発生件数が少なくなっており、町民同士のつながりが残っていることがその一因と考えられる一方、犯罪の少なさゆえに、防犯意識が低くなっているという課題もあります。

※ 1市5町(半田市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)

2. 目指すべき将来像

交通安全と防犯について、町民の意識の向上や地域ぐるみの活動の推進などを図り、引き続き交通事故と犯罪の少ない安全なまちを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・町、警察、その他関係団体が連携した、啓発活動を実施します。
- ・各種媒体を活用した、交通安全と防犯に関する広報活動に取り組みます。
- ・地域行事等の多くの方が連れ立って参加する機会を捉え、効果的な啓発を実施します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R1決算 (千円)	R2予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災安全課	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	1,559	1,620	A		P136
2 交通安全施設整備費	防災安全課	交通安全施設(防護柵、区画線、カーブミラー等)の新設工事を実施します	2,543	2,100	B		P137
3 交通安全施設維持管理費	防災安全課	交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します	3,558	2,061	B		P138
4 交通指導員設置費	防災安全課	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します	2,480	5,078	B		P139
5 防犯対策費	防災安全課	犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます	2,306	2,452	B		P140
6 空家等対策事業費	防災安全課	南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します	3,376	9,005	A		P141
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- ご近所同士の声掛けや会話など、ご近所づきあいを大切にする(個人)。
- 外出時の施錠、空き巣被害予防(家の周りに脚立等を置かない等)、放火・火災予防(家の周りに燃えやすいものを置かない等)など、防犯に気を付ける(個人)。
- 自動ブレーキ搭載の自動車に乗るなど、事故防止に努める(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

自由記述意見から実現の可能性が高い又は条件によっては実現可能な提案等に関する記述のみを抜粋【関連する主な予算事業の番号】

- ①通学路で見づらい場所が多く危険な道が多い。カーブミラーの設置か歩道を広くするなどの対策がほしい。【2】
- ②高齢者のドライバーが多すぎる。狭い道でスピード出す人が多い。飲酒運転が減っていない。1年生ぐらいの子も自転車で走りまわっており、飛び出しが多い。精神的に安定していない人がフラフラしていて、子どもを外で遊ばせるのが心配。【1,4,5】
- ③飲酒運転の人が多し。タクシーが無いから？宅飲みが多いから？警察署が無いからなのか？【1】
- ④島民は島民の生活・交通・安全などルールはありますが、最近観光客も増えてマナーが悪い。若い子はSNSもあるが、島民には島民の生活があるため守っていただいて色々迷惑をかけないようにしていただきたいです。【1】
- ⑤ここ数か月の間、南知多町内で幼い子どもへの声掛けや付け回し、連れ去りの未遂事件の報告を見ました。私も幼い子供を持つ母として心配でなりません。幼い子供への防犯に力をもっと入れてほしいと思います。【5】
- ⑥何もしていない人は子どもたちの登下校の時間に外に出て声掛けをしてほしい。防犯になる。【5】
- ⑦シルバーセンターの人や老人会の人たちを活かして、特に夕方の交通安全を見守ってほしい。【1】
- ⑧飲酒運転の防止、定期的な取り締まりと啓発活動を進める必要性を感じる。【1】
- ⑨交通事故も犯罪も人が起こすものであり、起こさないようにするためには、意識啓発や教育が最も必要である。子供たちへの教育は学校などで繰り返し教育することで、ある程度徹底できる。大人への意識啓発が課題であり、最も取り組むべき点と考える。【1】
- ⑩大人が普通に交通ルールを守ってほしい。子供達の反面教師はやめてほしい。【1】

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		目標値(R6)
90									95

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	
R4	
R5	
R6	

令和元年度 事業評価書

交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

事業概要

予算科目	2 款	1 項	10 目	1 事業	交通安全推進費	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	1,682千円
予算額					財源内訳	0千円	国庫支出金	0千円	町債	0千円	その他	1,682千円
決算額					財源内訳	0千円	国庫支出金	0千円	町債	0千円	その他	1,559千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
事業内容	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。	65歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納した時にその後の支援品として、乗っ取りバス及び知多バス(師崎線)の共通1日乗車券6,000円分を交付します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
予算額		1,322,000円
決算額		1,205,269円
財源(一般財源)		1,205,269円
(その他)		0円
執行率		91.2%
事業実績	交通安全推進協議会全体会 1回/年 交通安全キャンペーン 3回/年 交通安全イベント基地 1回/年 シートベルト講習所 3回/年 幼児交通安全実践講座 1回/年 啓発活動延べ参加人員 340人	申請件数 59件

評価 (CHECK)

事業指標	人身交通事故件数の削減	運転免許証自主返納支援事業の実施
日標値	前年人身交通事故件数46件(死亡0件・重傷4件・軽傷42件)	60件/年
実績値	人身交通事故件数32件(死亡1件・重傷4件・軽傷27件)	59件/年
達成度	達成	未達成
担当課評価 ※③	人身交通事故件数の全体件数が減少したため啓発活動の効果はあったと考えるが、約3年ぶりに死亡事故が発生したため、更なる対策が必要がある。	目標未達成であったが、自主返納者は前年を上回っており、事業効果はあったと考える。
基本施策有効評価(妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価(効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策
自動車による自損事故により死亡事故が発生したため、死亡事故抑制に向けて、安全運転サポート車(サボカー)の普及を促進する必要がある。	安全運転サポート車(サボカー)の普及に向けた支援事業の実施を検討する。
啓発活動の効果が低いため、次年度も同様に事業を実施する。	
推進方針 ※⑤	A B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する有効性の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※④ 評価(妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します

事業概要

予算科目 2 款 1 項 10 目 2 事業 交通安全施設整備費

予算額 2,579千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 2,579千円
決算額 2,543千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 2,543千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全施設整備事業	
事業内容	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します。	
基本施策① ※①	3-2 つなかりを活かした交通安全と防犯	
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	

実施 (DO)

主な事業	交通安全施設整備事業	
予算額	2,579,000円	
決算額	2,543,180円	
財源（一般財源）	2,543,180円	
（その他）	0円	
執行率	98.6%	
事業実績	防護柵 27.8m 区画線 750.2m （うち、グリーンベルト 222.0m） カーブミラー 3基	

評価 (CHECK)

事業指標	交通安全施設の新設工事了				
日標値	令和2年3月31日まで				
実績値	令和2年3月31日まで				
達成度	達成				
担当課評価 ※③	交通上の危険箇所交通安全施設を新設すること、安全性を向上することができたと考える。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い			
費用対効果評価 (効索性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い			

改善 (ACTION)

課題	交通安全施設の整備について、地元要望が多数あるため、全て対応することができない。	
改善・対応策	整備計画を作成し、優先順位に応じて、順次対応する。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効索性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します

事業概要

予算科目 2 款 1 項 10 目 3 事業 交通安全施設維持管理費

予算額 3,619千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 3,619千円

決算額 3,558千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 町債 0千円 その他 3,558千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全施設維持管理事業	駐輪場維持管理事業
事業内容	交通安全灯、カーブミラ一等の維持修繕を実施します。	内海駅高架下に設置してある町営駐輪場の維持及び放置自転車撤去を実施します。町営駐輪場の金網フェンスの更新工事を行います (新規)。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全施設維持管理事業	駐輪場維持管理事業
予算額	1,882,000円	1,737,000円
決算額	1,863,961円	1,694,288円
財源 (一般財源)	1,863,961円	1,694,288円
(その他)	0円	0円
執行率	99.0%	97.5%
事業実績	交通安全灯等の電気代 884,244円 カーブミラ等の修繕料 979,717円	放置自転車等処分手数料 20,570円 駐輪場用地借地料 78,718円 ネットフェンス更新工事 1,595,000円

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策
老朽施設の内、地域の交通情勢の変化により、使用頻度が低下したもののや、必要性がなくなったものが存在する。	特になし
老朽施設の内、地域の交通情勢の変化により必要性がなくなったものから、順次撤去する。	ネットフェンス更新工事が完了し、施設の長寿命化が図られた。また、放置自転車の対策について、事業効果が出ているため、次年度も同様に実施する。
推進方針 ※⑤	B C

評価 (CHECK)

事業指標	交通安全施設の現状把握	放置自転車の撤去作業
日標値	1回/年	1回/年
実績値	1回/年	1回/年
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	毎年施設を新設することで施設数が増加しており、また、過去に設置した施設の老朽化により、管理に係る労務と費用が増加している。	放置自転車の撤去台数が前年よりも減少しており、事業効果はあったと考える。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

事業概要

町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

予算科目	2 款 1 項 10 目 4 事業 交通指導員設置費	町債	0 千円	その他	3,995 千円
予算額	4,995 千円	県支出金	0 千円	町債	0 千円
決算額	2,480 千円	国庫支出金	0 千円	町債	0 千円
		国庫支出金	0 千円	その他	1,480 千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通指導員設置事業
事業内容	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
基本施策③ ※①	
重点政策 ※②	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通指導員設置事業
予算額	4,995,000円
決算額	2,480,350円
財源 (一般財源)	1,480,350円
(その他)	1,000,000円
執行率	49.7%
事業実績	交通指導員 2名

評価 (CHECK)

事業指標	交通指導員設置数				
日標値	4名				
実績値	2名				
達成度	未達成				
担当課評価 ※③	交通安全指導の促進のため、事業効果は高いと考えるが、交通指導員2名の設置は適切な配置とは言えず、増員の必要がある。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効索性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	人員が不足しており、増員の必要があるが、募集しても応募がない。
改善・対応策	会計年度任用職員への移行にあわせ、雇用条件を改善することで、応募を促す。
推進方針 ※⑤	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策の高低 (効索性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

事業概要						
予算科目	2 款	1 項	13 目	1 事業	防犯対策費	
予算額	3,021千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	3,021千円
決算額	2,306千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	2,306千円
			町債	0千円	その他	0千円
			町債	0千円	その他	0千円

計画 (PLAN)

主な事業	安全なまちづくり推進活動事業	防犯灯設置費補助事業
事業内容	安全なまちづくりを推進するための事業を実施します。 ・安全なまちづくり推進協議会 ・安全なまちづくりキャンペーン ・防犯カメラ設置 ・防犯カメラ設置費補助事業 (新規) ・暴力団追放活動	防犯灯設置促進を目的に区で設置する防犯灯の整備費に対して補助を行います。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	安全なまちづくり推進活動事業	防犯灯設置費補助事業
予算額	1,641,000円	1,380,000円
決算額	1,299,806円	1,005,742円
財源 (一般財源)	1,299,806円	1,005,742円
(その他)	0円	0円
執行率	79.2%	72.9%
事業実績	安全なまちづくり推進協議会 1回/年 安全なまちづくりキャンペーン 10回/年 防犯カメラ設置累計 11台 防犯灯設置費補助金交付件数 2件 暴力団追放パレード参加人員 約150人	新設 LEDへの付替え 27基 42基

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
特になし	事業効果があるため次年度も同様に事業を実施するが、本年度の予算執行の実績に基づき予算額を削減する。	B
防犯灯の設置やLEDへの付替えが促進されておらず、申請件数が減少傾向にあるため、補助対象件数を適正化する必要がある。	本年度の申請件数の実績に基づき、補助対象件数を下方修正する。	C

評価 (CHECK)

事業指標	犯罪発生件数の削減	防犯灯設置への補助を実施する
日標値	前年刑法犯認知件数73件	新設40基・LEDへの付替え50基
実績値	刑法犯認知件数66件	新設27基・LEDへの付替え42基
達成度	達成	未達成
担当課評価 ※③	刑法犯認知件数が減少しており、各種事業の効果があったと考えられる。	補助事業の促進により、防犯灯の設置やLEDへの付替えが進み、申請件数が減少傾向にあるため、目標値を下方修正する必要がある。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 ② 3 4 5 高い

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します

事業概要

予算科目	2 款 1 項 13 目 2 事業 空家等対策事業費	町債	0 千円	その他	3,932 千円
予算額	7,532 千円	町債	0 千円	その他	3,932 千円
決算額	3,376 千円	町債	0 千円	その他	2,176 千円

計画 (PLAN)

主な事業	特定空家等対策支援事業	特定空家等候補調査業務
事業内容	特定空家等の内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態にあるもので、危険度及び緊急性が高いものは、除却費用の一部を支援します。 ①不良住宅に該当 補助対象経費の額5分の4を乗じかつ上限80万円(国費1/2、県費1/4、町費1/4) ②不良住宅に非該当 補助対象経費の額かつ上限20万円(町費単独)	町民から情報提供のあった管理不全な状態にある空家等について、特定空家等候補として調査を行い、南知多町空家等対策協議会において特定空家等の判断をする際の基礎資料を作成します。 ①再調査物件(半島側20件、離島1件) ②新規物件(半島側28件、離島6件)
基本施策① ※①	3-3 資源を活かす土地利用	3-3 資源を活かす土地利用
基本施策② ※①	3-2 つなかりを活かした交通安全と防犯	3-2 つなかりを活かした交通安全と防犯
基本施策③ ※①	3-1 まちと命を守る防災	3-1 まちと命を守る防災
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	特定空家等対策支援事業	特定空家等候補調査業務
予算額	5,800,000円	1,480,000円
決算額	2,400,000円	877,800円
財源(一般財源)	1,200,000円	877,800円
(その他)	1,200,000円	0円
執行率	41.4%	59.3%
事業実績	交付件数 6件	再調査物件 20件 (半島側19件、離島側1件) 新規物件 12件 (半島側8件、離島側4件)

評価 (CHECK)

事業指標	特定空家等の除却の補助	特定空家等候補調査業務の実施
日標値	11件/年(うち町単5件)	34戸/年
実績値	6件/年(うち町単4件)	32戸/年
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	事業効果は高いが、申請件数が伸びていないため、目標値達成に向け、申請件数を増加させる対策が必要である。	前年度に比べ管理不全な状態にある空家等の情報の提供数が減少しているため、実績を踏まえ目標値を下方修正する必要がある。
基本施策有効評価(妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価(効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策
不良住宅に非該当であっても、除却費用が高額になる事例が多いため、現行の補助金の上限額では、実施につながらない。	不良住宅に非該当であっても、除却費用が高額になる事例が多いため、現行の補助金の上限額では、実施につながらない。
活用する国庫補助制度を変更し、制度内容を原直すことで、次年度より不良住宅に非該当であっても補助金の上限額を80万円まで増額する。	活用する国庫補助制度を変更し、制度内容を原直すことで、次年度より不良住宅に非該当であっても補助金の上限額を80万円まで増額する。
管理不全な状態にある空家等の情報の提供数が減少傾向にあるため、実施件数を適正化する必要がある。	本年度の予算執行の実績に基づき、実施件数を下方修正する。
推進方針 ※⑤	A C

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低(効率的性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討